

# 令和 1 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	72
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴 有				
事務事業名	健康をテーマにした特産品開発(オリーブ栽培事業)					
予算科目	2 款 1 項 15 目					
予算事業名	オリーブ栽培事業費					
総合計画での位置づけ	商工業の振興					
担当課	魅力づくり推進課	担当課長	川上 克彦			
事業担当者	安部 憲一郎	一次評価者	西村 勝			
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	-					
事業の対象	町民					
事業の目的	町の個性でもある「健康なまち」を実現していくうえで、オリーブを活用した、町の魅力等の情報発信を図る。					
実施期間	開始年度	平成 23 年度から				
	終了年度	令和 年度まで				
事業の内容	平成28年度から本格的に栽培を実施しており、当初から草場オリーブ園で栽培している744本に加え、上山田オリーブ園に苗木430本を定植。オリーブの特産品開発化に向けた調査事業を実施し、事業化に向けて試験栽培を行っている。					
目的達成の指標	オリーブの実の収穫量					
	区分年度	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3年度
	目 標	kg	15	60	240	285
	実 績	kg	38.2	202.8		
指標設定の考え方	オリーブの実の収穫量が、適正な管理状況の判断に繋がると考えるため。					
事業遂行時懸案事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適正な施肥、灌水管理</li> <li>○圃場の排水機能の整備</li> <li>○オリーブ栽培事業を活用した町の魅力発信</li> </ul>					
事業実施時懸案事項対応等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適正な施肥、灌水管理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリーブ栽培に関する専門家の指導を仰ぎ管理等を実施</li> <li>・一般的な管理についてはシルバー人材センターに作業を委託</li> </ul> </li> <li>○圃場の排水機能の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・圃場内の排水機能を持たせるため排水設備工事の実施</li> </ul> </li> <li>○オリーブ栽培事業を活用した町の魅力発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリーブの実の収穫体験を通じた事業のPR</li> <li>・オリーブオイルを活用した町の魅力発信</li> </ul> </li> </ul>					

# PLAN(計画)

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,336 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		30 年度予算	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算
事務量	① 人工数	0.10	0.10	0.10	0.10
	② 人件費単価	7,350	7,555	7,137	7,137
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	735	755	713	713
事業費	直接事業費	12,613	11,219	3,358	3,358
	人件費	735	755	713	713
	合 計	13,348	11,974	4,071	4,071
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	13,348	11,974	4,071	4,071
	合 計	13,348	11,974	4,071	4,071

## 事業費計画

(千円)

区分/年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
目 標	12,613	11,219	3,358	3,358	3,358
実 績	7,885	10,035			

## 事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度
専門家による栽培指導	回	12	12	12	12
		24	9		
栽培事業について広報紙でPR	回	—	2	3	3
		—	3		

# DO(実施)

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,208 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		30 年度決算	1 年度予算	1 年度決算	
事務量	① 人工数	0.10	0.10	0.10	
	② 人件費単価	7,187	7,555	7,891	
	③ 補助事業人件費		0		
	人件費(①×②-③)	718	755	789	
事業費	直接事業費	7,885	11,219	10,035	
	人件費	718	755	789	
	合 計	8,603	11,974	10,824	
財源内訳	国庫支出金		0		
	県支出金		0		
	地方債		0		
	その他		0		
	一般財源	8,603	11,974	10,824	
	合 計	8,603	11,974	10,824	

## 実施備忘録

自己評価	評価者	安部 憲一郎
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	B
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	2	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		B
<input checked="" type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		B
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		B
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

健康の町を重要な政策の基点においている当町にとって、健康のイメージが強いオリーブの持つブランド力を活用することは、非常に有効であると考えます。

オリーブ栽培事業は初期投資費用が多くかかり、現在の規模で事業を行っていくことは、民間事業者では非常に難しいことから、町が行っていく必要がある。

オリーブの栽培状況は、獣害防除及び排水設備の試験整備の成果もみられ、個体差はあるものの安定した成長がみられるようになった。今年度は実の収穫が昨年度の38.1kgを大きく上回る202.8kgとなった。その実から製造したオリーブオイルを、今後、町の魅力発信の資源として活用していく予定である。

栽培管理については、九州オリーブ普及協会の技術専門員の指導を定期的に受けながら、一般的な作業をシルバー人材センターへ委託しており、効率性を保つよう努めている。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

今年度は、獣害対策や排水施設の試験整備等の圃場整備の成果もみられ、実の収穫については、昨年度を大きく上回る収量となった。今後も、さらに実の収量の増加を図るため適正な管理を確実に実施していき、元気なオリーブを育てることに努めていく。

また、町の魅力発信を目的に、秋に町民を対象に実の収穫体験会を実施したこや苗木の配布を実施したことは一定の成果と考える。

今後は、収穫した実から製造したオリーブオイルを町の魅力発信の資源として有効活用することが課題である。

# CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	西村 勝
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ←→ 小 1 ↓

項目	評点	判定
<b>1. そもそも必要な事業か？</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	2	C
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	2	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	2	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
<b>2. 町が実施する必要があるか？</b>		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		
<input checked="" type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	2	C
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
<b>3. 実施内容は適切か？</b>		
<b>①有効性</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	C
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
<b>②効率性</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
<b>③公平性・透明性</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	C
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	2	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了

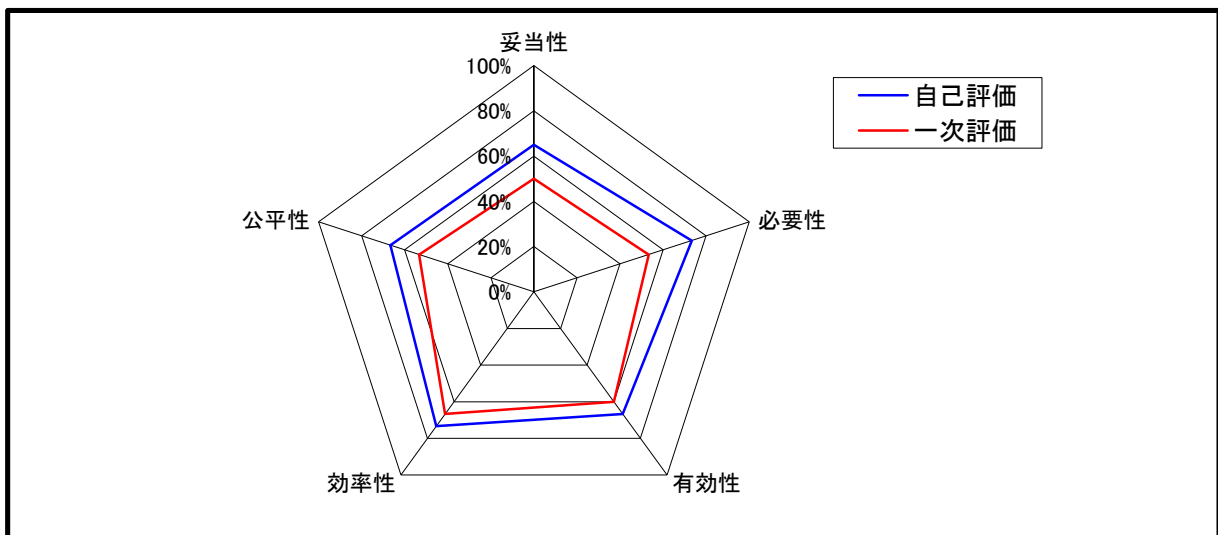


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

オリーブを特産品として商品化を行い、雇用に結びつけていくには、収穫量が十分ではない状況である。そのため、ふるさと応援寄附金の返礼品として、認知度の向上を図ると共に、オリーブ栽培を含め、当面は、PRの強化を図る事で、久山町のブランドづくりをすすめる。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	川上 克彦
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

栽培・収穫・製品化とサイクルが確立されつつあるが、今後コストをかからないPR方法を検討する必要がある。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、  
月 日  
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。  
月 日  
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了  
 外部評価へ

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--

令和 3 年度予算要求事項(今後の取り組み)

--